

こどもの交流

未来の東アジアの平和・共生を担う子どもたちの交流に力を入れて取り組みました。高校生など青少年を派遣し合い、文化交流プログラムの体験により交流を行う事業や、3か国語共通で歌える「わたしは未来」の合唱を通じた交流などを実施。子どもたちは、文化を通じて言葉の壁を軽々と乗り越え、友好の絆を深めました。



トウモロコシ畑で記念撮影

3都市間で相互に青少年を派遣し、現地の青少年を交えて文化を通じた交流プログラムを実施する青少年交流事業の先陣を切って、新潟市で交流を開催しました。

青島市、清州市から高校生各 15 人、本市からは高校生と専門学校生合わせて 10 人が参加し、「東アジア文化都市 2015 新潟市」のメイン事業である水と土の芸術祭の作品見学をはじめ、本市が世界に誇る食文化や農業、マンガ・アニメ文化などの独自文化に触れながら、交流を深めました。本市参加者にとっては、本市の文化に対する他都市参加者の評価を通じて、本市の価値や魅力を再認識する貴重な機会ともなりました。

また、文化親善大使（交流サポーター）である Negicco の皆さんも参加し、新潟の文化の PR をしたり、一緒に体験を行うなどしながら、参加者との親睦を深めました。



水と土の芸術祭の作品見学



Negicco の皆さんによる作品説明



共同で船の帆を作成



新潟の地域文化、万代太鼓の体験

開催概要
オープニング
国際大会・
水と土の芸術祭
こどもの交流
3都市相互の
新潟市独自の文化
その他の文化
その他の
クロージング
関連事業
フレンドシップ
広報活動
外国人誘客促進
資料編

開催日	2015/7/27(月)～30日(木)
会場	水と土の芸術祭作品展示会場、いくとびあ食花、新潟市アグリパーク、日本アニメ・マンガ専門学校 ほか
受入団体	青島市・清州市青少年
主催	「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会



レクリエーションの様子



新潟の和菓子作り体験



マンガ講座



別れを惜しむ参加者



初日の感想まとめ



最終日の感想まとめ



螳螂拳体験

青島市で開催された青少年交流事業には、新潟市から高校生と専門学校生合わせて 15 人、清州市から高校生 15 人が参加し、青島市の高校生 15 人と交流を行いました。

オリンピックセンターでのヨット乗船体験のほか、中国茶道・香道・書道や水墨画、螳螂拳の実習など、青島市ならではの活動日程が組まれ、3都市の青少年が青島市文化に親しみながら交流を深めました。

3都市の参加者は、すぐに打ち解け、意気投合するなど、この交流が次代の東アジアの平和・共生の関係づくりに向けて意義深いものであることを改めて認識することができました。

開催日	2015/8/5(水)～7(金)
会場	青島オリンピックセンター、青島市博物館、安欄書院、青島市美術館、嶗山製茶工場 ほか
派遣団体	新潟市青少年
主催	2015 東アジア文化都市・中国青島イベントイヤー組織委員会、青島市
共催	青島市芸術研究院



オリンピックヨットセンターでヨット体験



水墨画実習



茶摘み体験



伝統衣装を着て記念撮影

清州市で開催された青少年交流事業には、新潟市から高校生と専門学校生合わせて 15 人が参加し、清州市の高校生 15 人と交流を行いました。

参加者は、伝統衣装を着て礼節について学んだり、K-POP ダンスレッスンや韓紙作り体験など伝統的なものから現代的なものまで、バラエティに富んだプログラムを通じて、お互いの文化を理解し合いながら交流を深めました。

両都市の若者たちは、短期間の中でも急速に親睦を深め、今後の平和・共生・交流の関係づくりに繋げることができました。

また、本市の参加者にとっては、他都市の文化に触れることで自都市の文化の独自性や魅力を再認識できる機会ともなりました。

開催日	2015/7/30(木)～8/2(日)
会場	清州郷校、古印刷博物館、ダンスストリッツ、文義ボラク韓紙村 ほか
派遣団体	新潟市青少年
主催	清州市
主管	東アジア文化都市清州組織委員会
後援	文化体育観光部、忠清北道など



ボディアート体験



K-POP ダンスレッスン



韓紙作り体験

青少年交流参加者感想文

参加者がこの交流を通じて、互いの国の人や文化に実際に触れて感じたことなどを綴った感想文の一部を紹介します。



伊藤紗月さん

「思う」と「行動する」 新潟高校3年 伊藤 紗月
私は中学生の時、英語専攻で韓国の子と交流しました。しかしその時は、初めて会う人への緊張感、恥ずかしさ、という想をどうしても抑えられずほとんど話す事ができませんでした。その経験が踏まえ、今回はもう緊張をしないように交流は英語専攻で、大気取りでありながら私を必要に感じ、とにかく言葉を覚えました。話を聞かせたりおぼせてくれました。例を挙げていかけてからとらえず無理な練習をやらせたりもなかった。さっさと話したら済んだらう事も、本気で相手と心を通わせようと試みたあの時間は何よりもかけがえのないものなのではないかと思えます。別れた時、私たちは互声ではきました。「あなたなら英語で？」と聞いていたが、私もお笑い顔は顔でしてしまっていた。もっとの意で「私たちがずっと友達です」と書き、スマホに写せました。デザイン系の大学に行きたいという目標



「私は今からもう英語専攻でデザイン系の大学に行きたいという目標から特に仲良くなった。日本語が上手な友達です。話を聞かせたりおぼせてくれました。例を挙げていかけてからとらえず無理な練習をやらせたりもなかった。さっさと話したら済んだらう事も、本気で相手と心を通わせようと試みたあの時間は何よりもかけがえのないものなのではないかと思えます。別れた時、私たちは互声ではきました。「あなたなら英語で？」と聞いていたが、私もお笑い顔は顔でしてしまっていた。もっとの意で「私たちがずっと友達です」と書き、スマホに写せました。デザイン系の大学に行きたいという目標



伊藤紗月さん感想文（新潟市開催、青島市開催に参加）



須貝優貴さん

中国・青島・青年交流事業
QINGTAO
まとめ 須貝優貴

3/4~7/4、新潟市の東アジア文化交流都市青少年交流事業に参加しました！
開催地は中国、青島市
ドイツ風の街並みと高層ビル林が調和した海沿いのエネルギーな街でした。充実したプログラムの中で楽しく国際的な活動ができました。

① 交通がダイナミック！
右車線でも左車線でも
4分以内バス
料金は一括1元（=20円）！
でもエアコン付
だと2倍です。②

② 中国の学校は音声が面白い！
③ 日本の製品が割とある！

今回痛感したのは、己の英語の乏しです。① 現時での、中国人と韓国人との会話は全て英語だったのですが、仲々思い通りに会話ができませんでした。特に中国人は現況勉強しているというもあってペラペラで、とても刺激を受けました。② これからの時代、英語は必要不可欠なコミュニケーションツールだと再認識できました。頑張ろう...!

私は未来取れましたよ
① 滞在最終日の夜、日本団の皆で「私は未来」を日・中・韓の3ヶ国語で歌ってました。至らない点もあつたと思いますが、中国人も韓国人もそれぞれ喜んでくれたのが嬉しかったです。②

それまでよく知らなかった中国に実際に来て、自分の目で見ることによって印象が大きく変わりました。日本も外から見ることも、友達もつくれて、本当に代え難い良い経験もさせてもらいました。交流事業に参加できて良かったです。ありがとうございました！

須貝優貴さん感想文（青島市開催に参加）

開催概要
オープニング
国際大会
水と土の芸術祭
こどもの交流
3都市相互の
新潟市独自の文化
その他の文化
その他の
クロージング
関連事業
フレンドシップ
広報活動
外国人誘客促進
資料編



孫鋭さん（中央）

山東省青島第九中学 孫鋭

私は代表メンバーの1人としてこのイベントに参加できたことを大変光栄に思い、責任の重大さを感じながら、今回のイベントの趣旨を忘れずに新潟の現地文化をはじめ、日本や東アジア地域の文化への理解をより一層深めました。

新潟市が用意したプログラムは、きめ細かく豊富で、スケジュールもメリハリがあり、主催者のおもてなし・心遣いを感じました。私たちが共に体験した「水と土の芸術祭」、太鼓演奏、稲刈り等は、私にとってこれまでに経験したことのないものでした。

5日間の交流を通じて、私たちは日韓の青少年らと厚い友情を築き、理解・勉強し合ったことで、東アジア文化の真髄とその相違点・相通点をより一層感じることができました。文化は包括的なものであるため、この事業により「求同存異」の精神はきっと我々の世代でも引き続き継承され、東アジア文化もきっと我々の世代で引き続き発展するでしょう。

孫鋭さん感想文（新潟市、青島市開催に参加）



シン・ヒョンシクさん

シン・ヒョンシク（五松中学校2年）

新潟はきれいなところでした。真夏でしたが、美しく、海風も気持ちよかったです。すべてが新しく、ずっとワクワクしていました。今回の機会を通じて私は日本、中国の青少年に会い、彼らとの文化交流によって色々なことを学び感じるすることができました。

中でも一番良かったのは、日本に行って日本文化を知り、体験できることでした。特に「水と土の芸術祭」が最も印象深かったです。韓国とは違い、地域全体で祭りを実施していました。清州にも「工芸ビエンナーレ」がありますが、新潟のように地域全体の祭りに発展すれば良いと思いました。

新潟市の関係者の親切な案内と指導で私の心は快適でした。新潟の青少年はいつも表情が明るく、見知らぬ友人を喜んで迎えてくれました。一緒にご飯を食べたり、文化探訪したり、交流して過ごす間、彼らはずっと私の温かい友でした。

また今回の文化交流では、国籍が違う学生同士がパートナーになるプログラムがあり、これが仲良くなるきっかけになりました。言語、国籍、考え方、慣習は違いますが、私たちは一緒に過ごせることを確認しました。これからは韓国でもこの事業を維持し、発展させて欲しいです。

シン・ヒョンシクさん感想文（新潟市開催に参加）

日中韓「わたしは未来」合唱交流



3都市合唱団による合同合唱

日中韓3カ国語で歌える合唱曲「わたしは未来」を通じて、日中韓3都市（新潟市・青島市・清州市）の子どもたちが合唱交流を行いました。

第1部では、3都市それぞれの合唱団による発表のほか、中韓の子どもたちを歓迎して、本市の子どもたちによる芸能の披露や、元宝塚歌劇団月組組長の越乃リュウさんのゲストステージを行いました。第2部では、「わたしは未来」の制作者である、宮田亮平氏（東京藝術大学学長）、松下功氏（同大学副学長）、夢枕獭氏（作家）から、歌に込められたメッセージをいただいた後、オーケストラをバックに、3都市の子どもたちが合同合唱をし、歌を通じて心を通わせました。

最後は、出演者と来場のみなさんが一緒になって「わたしは未来」を合唱し、フィナーレを飾りました。

開催日	2015/8/14(金)
会場	りゅうとびあ新潟市民芸術文化会館 コンサートホール
来場者数	550人
出演団体	受入団体：青島市群星青少年合唱団、CYL ジュニア合唱団(清州市) 出演団体：新潟市ジュニア合唱団、新潟万代太鼓振興会(飛龍會、若藤会)、 にいがた総おどり(響'連、新潟総踊り連 あじかた まごころ)、新潟室内合奏団 ゲスト：元宝塚歌劇団月組組長 越乃 リュウ、東京藝術大学学長 宮田亮平(ビデオメッセージ)、作曲家・東京藝術大学副学長 松下功、 作家 夢枕獭
主催	新潟市、「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会
特別協力	文化庁



青島市群星青少年合唱団



CYL ジュニア合唱団



交流する参加者

「わたしは未来」



新潟市ジュニア合唱団によるみなと新潟春フェスタ 2015 での披露

「わたしは未来」とは

○制作の経緯

「わたしは未来」は、佐渡市出身の東京藝術大学宮田亮平学長が共通の歌詞を3か国の言葉に訳した歌の創作を提案、同大松下功副学長が作曲、作家の夢枕獏さんが作詞を手がけて実現した歌で、2013年に新潟市などで開催された第9回日中韓文化交流フォーラムで初めて披露されたものです。

○披露の場など

日中韓文化交流フォーラムをはじめとした国際会議における交流の場や新潟市でのクロージングイベントなど、本市で開催されるイベントで新潟市ジュニア合唱団などにより歌われています。また、青島市で開催された青少年交流で新潟市青少年団が3か国語で合唱し喜ばれたほか、市内の小中学校などにもCDを配布することで、地域の人たちに親しまれています。



国際会議の歓迎夕食会で披露



日本海夕日コンサートで地元小学生が合唱



青島市で行われた青少年交流で合唱



新潟市ジュニア合唱団団長 コメント

新潟市ジュニア合唱団団長 高校2年 中野太一

新潟市ジュニア合唱団は、1年間「わたしは未来」を歌い続けてきました。5月のみなとびあでのステージ、8月の中国・韓国の合唱団との合唱交流、そして11月にクロージングイベントと、様々な場所で演奏させていただきました。中国語と韓国語の歌を歌うのは初めてで苦労しましたが、他国の合唱団と共演するという貴重な経験ができ、歌があればどんな人とも繋がれる歌の素晴らしさを改めて知ることが出来ました。また共演したいです！！



4 各国 6 都市の子どもたちが大集合

「はばたけ 21 未来の子どもたちへ」として、1992 年以來 22 回にわたり行われてきたプログラムを東アジア文化都市事業の一環で実施しました。

新潟市、清州市のほか、中国、韓国、ロシアの都市から児童の参加を募り、将来の北東アジア交流の担い手である子どもたちの国際感覚の養成を図りました。

4 各国の子どもたちは、1 週間にわたる共同生活と日本文化のプログラムなどの体験を通して距離を一気に縮め、最後にはお互いを「家族」「きょうだい」と呼び合うまで打ち解けたり、次は運営の手伝いをしたいという感想が聞かれたりと、友好の絆を強くすることができました。

開催日	2015/8/18(火)~23(日)
会場	市内各所、新潟県妙高市
受入団体	清州市：小学生 その他中国、韓国、ロシア 4 都市の小学生
主催	はばたけ 21 未来の子どもたちへ実行委員会、「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会

子どもたちの感想をちょっとだけ紹介

「思っていた以上にやさしい人がたくさんで、『言葉は違っても心は同じだな』と思った。」(新潟市)

「4 各国は互いに近い国だけれど互いの文化が違うことを直接感じられた。違う国の友達と生活することに大きな意味があると思う。次も機会があればもっと成長した形で参加したい。」(清州市)



日本文化を通じて交流



ホームステイ ホストファミリーとご対面



参加者全員がひとつに